

異常流入の対応に係る特記仕様書

「松江市污水处理施設管理委託共通仕様書 第3編 第1章 第1節 4. 異常流入の対応」の詳細について下記のとおりとする。

記

1. ポンプ場に異常流入が認められる場合及び異常流入が予測される場合は速やかに監視体制を整えること。
2. 向島ポンプ場の送水量は、原則計画汚水量以下とするが、止むを得ず緊急又は一時的に送水量を引き上げる必要が生じた場合は、島根県東部浄化センターと協議を行い、ポンプ2台を同時運転するものとする。
ただし、同時運転中に東部浄化センターから流入制限の要請があった場合には、流入ゲートの調整により管内貯留を行い、送水量を制限するものとする。その際は、管内貯留水位に留意するとともに、所定の水位を超え改善の見込みのない場合は速やかに監督員に報告するものとする。
3. 監視体制は、異常流入量が減少し今後増加する見込みが無い場合に、監督員と協議の上解除するものとする。
4. 本業務において、緊急対応の範囲を超えた業務の費用負担については別途監督員と協議を行うものとする。
5. ここに記載されていない事項については、その都度監督員と協議を行うこと。

特 記 仕 様 書

総 則

1. 適用範囲

本仕様書は、上下水道局（以下、発注者という。）が管理する污水ポンプ場ポンプの点検整備に適用する。

2. 履行場所

- （１）向島ポンプ場（松江市学園南一丁目）
- （２）橋本ポンプ場（松江市学園二丁目）
- （３）黒田ポンプ場（松江市黒田町）

3. 現場体制

- （１）受注者は、作業の技術及び経験を有する現場責任者のもと所定の業務に従事すること。
- （２）受注者は、適正な作業の進捗を図るとともに、そのために十分な数の作業員を配置すること。

4. 工程管理

- （１）受注者は、監督員と協議して実施工程表を作成し提出すること。
- （２）工程管理は、前項の実施により、適正に行うこと。
- （３）予定の作業工程と実績とに差がでた場合は、必要な措置を講じて作業の円滑な進行を図ること。

5. 作業記録写真

受注者は、作業状況写真を撮影し、監督員に提出しその承諾を得ること。

なお、発注者が必要と認め監督員が指示する場合は、その指示に従うこと。

- （１）作業前、作業後の状況を同一方向で撮影すること。
- （２）写真には件名、撮影場所及び受注者名を明記した黒板を入れて撮影すること。
- （３）一枚の写真では作業状況が明らかにならない場合は、貼り合わせること。
- （４）写真は、原則としてカラー撮影とし、その大きさはサービス判とすること。
- （５）点検整備を実施する污水ポンプ場の全箇所撮影すること。

点検整備

1. 点検整備工

（１）油類の流下防止

作業に当たっては、ポンプ井内に油脂類等を流出させてはならない。

万一流出させた場合はこれを取り除くこと。

(2) 引上げ作業

引上げ作業に当たっては、ポンプ井等に転落事故等が発生しないように十分に安全措施を講ずること。

2. 点検整備内容

ポンプ設備

- ① 水中汚水汚物ポンプ引上げ点検
- ② 着脱装置の機能確認
- ③ 腐食状態の確認
- ④ 逆止弁の状態確認
- ⑤ ポンプ外観点検
- ⑥ ケーブル外観点検
- ⑦ ハネグルマ点検
- ⑧ オイル交換
- ⑨ 消耗品の交換
- ⑩ ポンプ総合機能点検

※消耗品・・・シールワッシャ・パッキン・グリス

3. 作業記録表

別紙「ポンプ点検チェックシート」へ点検記録を記載し報告書に添付すること。

水中ポンプ点検 チェックシート

設 置 場 所 : _____

ポ ン プ メ ー カ ー : _____

型 式 : _____

製 造 番 号 : _____

吐 出 量 m^3/min 揚 程 m

絶 縁 抵 抗 値

U	MΩ	V	MΩ	W	MΩ
X	MΩ	Y	MΩ	Z	MΩ

①	着脱装置の機能状態	<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
②	腐食状態(ポンプ以外)	<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
③	逆止弁の状態	<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
④	ポンプの外観状態	<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
⑤	ケーブル外観状態	<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
⑥	羽根車の手回し状態	<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
⑦	羽根車の腐食状態	<input type="checkbox"/>	良			<input type="checkbox"/>	不可
⑧	オイルの状態(濁り具合)	<input type="checkbox"/>	良(濁りなし)			<input type="checkbox"/>	不可(濁りあり)
⑨	オイルの状態(オイル量)	<input type="checkbox"/>	適量			<input type="checkbox"/>	少ない
⑩	消耗部品の状態	シールワッシャ	<input type="checkbox"/>	良		<input type="checkbox"/>	不可
		パッキン	<input type="checkbox"/>	良		<input type="checkbox"/>	不可
		グリス	<input type="checkbox"/>	良		<input type="checkbox"/>	不可
⑪	ポンプ総合機能	<input type="checkbox"/>	良			<input type="checkbox"/>	不可
⑫	その他 異常の有無		<input type="checkbox"/>	有		<input type="checkbox"/>	無
		詳細					

水中ポンプ点検 チェックシート

設 置 場 所 : _____

ポ ン プ メ ー カ ー : _____

型 式 : _____

製 造 番 号 : _____

吐 出 量 m^3/min 揚 程 m

絶 縁 抵 抗 値

U	MΩ	V	MΩ	W	MΩ
X	MΩ	Y	MΩ	Z	MΩ

①	着脱装置の機能状態		<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
②	腐食状態(ポンプ以外)		<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
③	逆止弁の状態		<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
④	ポンプの外観状態		<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
⑤	ケーブル外観状態		<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
⑥	羽根車の手回し状態		<input type="checkbox"/>	良	<input type="checkbox"/>	可	<input type="checkbox"/>	不可
⑦	羽根車の腐食状態		<input type="checkbox"/>	良			<input type="checkbox"/>	不可
⑧	オイルの状態(濁り具合)		<input type="checkbox"/>	良(濁りなし)			<input type="checkbox"/>	不可(濁りあり)
⑨	オイルの状態(オイル量)		<input type="checkbox"/>	適量			<input type="checkbox"/>	少ない
⑩	消耗部品の状態	シールワッシャ	<input type="checkbox"/>	良			<input type="checkbox"/>	不可
		パッキン	<input type="checkbox"/>	良			<input type="checkbox"/>	不可
		グリス	<input type="checkbox"/>	良			<input type="checkbox"/>	不可
⑪	ポンプ総合機能		<input type="checkbox"/>	良			<input type="checkbox"/>	不可
⑫	その他 異常の有無		<input type="checkbox"/>	有			<input type="checkbox"/>	無
		詳細						

特 記 仕 様 書

総 則

1. 適用範囲

- (1) 本仕様書は、上下水道局（以下、発注者という。）が管理する向島ポンプ場の天井クレーン（地上１Ｆ，地下１Ｆ）の点検に適用する。

2. 履行場所

- (1) 向島ポンプ場（松江市学園南一丁目）

3. 提出書類

- (1) 業務が完了したときは、すみやかに次の書類を提出すること。

- ① 業務報告書
- ② 検査記録表
- ③ クレーン性能検査結果通知書
- ④ その他監督員が指示するもの

4. 現場体制

- (1) 受注者は、作業の技術及び経験を有する現場責任者のもと所定の業務に従事すること。
- (2) 受注者は、適正な作業の進捗を図るとともに、そのために十分な数の作業員を配置すること。

5. 一括再委託等の禁止

- (1) 受注者は、業務の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。
- (2) 受注者は、業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ書面により発注者の承諾を得なければならない。

6. 損害賠償及び補償

- (1) 受注者は、下水道工作物に損傷を与えたときは、ただちに監督員に報告し、その指示を受けるとともに、すみやかに原形に復旧しなければならない。
- (2) 受注者は、作業にあたり万一注意義務を怠ったことにより第三者に損害を与えたときは、その復旧及び賠償の全責任を負わなければならない。

7. 工程管理

- (1) 受注者は、あらかじめ関係者と協議して実施工程表を作成し提出すること。

- (2) 工程管理は、前項の実施により、適正に行うこと。
- (3) 予定の作業工程と実績とに差がでた場合は、必要な措置を講じて作業の円滑な進行を図ること。
- (4) 作業実施の都合上、履行期間に含んでいない日（祝日又は休日等）に作業を行う必要がある場合は、あらかじめその内容、作業時間等について監督員の承諾を得ること。

8. 作業記録写真

受注者は、作業状況写真を撮影し、監督員に提出しその承諾を得ること。

なお、発注者が必要と認め監督員が指示する場合は、その指示に従うこと。

- (1) 写真には件名・撮影場所・撮影対象・受注者名を明記した黒板を入れて撮影すること。
- (2) 一枚の写真では作業状況が明らかにならない場合は、貼り合せること。
- (3) 写真は、原則としてカラー撮影とし、その大きさはサービス判とすること。
- (4) 点検を実施する天井クレーンの全箇所撮影すること。

点検工

1. 一般事項

- (1) 作業にあたっては、下水道工作物に損傷を与えないよう必要な措置を講じること。
- (2) 受注者は、作業にあたり地元住民等に迷惑のかからぬよう極力騒音、振動等の防止に努めること。
- (3) 受注者が監督員の指示に反して作業を続行した場合及び監督員が事故防止上危険と判断した場合等には、作業の一時中止を命ずることがある。

2. 作業工

(1) 油類の流下防止

- ① 作業にあたっては、油脂類等を流出させてはならない。
- ② 万一流出させた場合はこれを取り除くこと。

(2) 異常時の処置

- ① 作業が困難な状態になった時は直ちに監督員に報告し指示をうけること。
- ② 作業範囲の工作物に破損、不等沈下、腐食等の異常発見した時は速やかに監督員に報告すること。

3. 業務内容

(1) 天井クレーン点検（地上1F、地下1F）

- ① 走行レール点検
- ② トロリー本体点検

- ③ 走行機械装置点検
 - ④ 巻上機械装置点検
 - ⑤ 配電盤点検
 - ⑥ その他監督員が指示するもの
- (2) 性能検査の受検 (B 1 F)
- ① 受注者は、年次点検終了後速やかに一般社団法人 日本クレーン協会と検査日程の調整を行い、検査日を監督員に連絡すること。
 - ② 受注者は、足場、検査用ウエイトなど受検に際して必要なものを準備すること。
 - ③ 受注者は、性能検査に係る検査料を一般社団法人 日本クレーン協会に支払うものとする。

安全管理

1. 一般事項

- (3) 受注者は、労働災害及び物件損害等の未然防止につとめ「労働安全衛生法」、及び「市街地土木工事公衆災害防止対策要綱」等の定めるところにしたがい、その防止に必要な措置を十分に講ずること。
- (4) 作業中は、気象情報に充分注意を払い、豪雨出水、地震等が発生した場合は、ただちに対処できるような対策を講じておくこと。

2. 作業員の安全管理

- (1) 受注者は、この作業に当たっては常に細心の注意を払い、十分な事前調査および対策を講じ事故の防止及び作業員の安全を図ること。
- (2) 作業に使用する機材は常に点検し、整備をしておかなければならない。
- (3) 万一事故が発生した時は、ただちに監督員及び関係官公署に報告するとともに、速やかに必要な措置をとること。

その他

1. 性能検査について

- (1) 受注者は、性能検査の有効期間切れがないように注意し、年次点検実施後速やかに受検すること。

2. 特に定めない事項

- (1) 特に定めのない事項については、必要に応じて双方が協議して定める。

特 記 仕 様 書

総 則

1. 適用範囲

- (1) 本仕様書は、上下水道局（以下、発注者という。）が管理する下水道施設（污水ポンプ場）内の清掃工（ポンプ井内に堆積した汚泥等を除去し、ポンプ場の機能を回復する作業）に適用する。

2. 履行場所

松江市学園南一丁目外

（内 訳）

- (1) 向島ポンプ場（松江市学園南一丁目）
- (2) 橋本ポンプ場（松江市学園二丁目）
- (3) 黒田ポンプ場（松江市黒田町）
- (4) 浜佐田ポンプ場（松江市浜佐田町）
- (5) 第二湊北台ポンプ場（松江市湊北台）

3. 提出書類

- (1) 受注者は、契約締結後速やかに道路使用等について、関係官公署に届け出を行い、許可を得ること。
- (2) 受注者は、契約締結後、すみやかに次の書類を提出し、承諾を受けたうえ、作業に着手すること。
- ① 着手届
 - ② 現場責任者届
 - ③ 工程表
 - ④ 職務分担表
 - ⑤ 緊急連絡届
 - ⑥ 清掃作業計画書
 - ⑦ 強力吸引車使用届
 - ⑧ 高圧洗浄車使用届
 - ⑨ 酸素欠乏作業主任技能講習修了証（第2種）の写し
- (3) 清掃が完了したときは、すみやかに次の書類を提出すること。
- ① 完了届
 - ② 清掃報告書
 - ③ 清掃汚泥発生量報告書

④産業廃棄物管理票（マニフェスト）

⑤その他監督員が指示するもの

4. 現場体制

- （１）受注者は、作業の技術及び経験を有する現場責任者のもと所定の業務に従事すること。
- （２）受注者は、適正な作業の進捗を図るとともに、そのために十分な数の作業員を配置すること。

5. 一括再委託等の禁止

- （１）受注者は、業務の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。
- （２）受注者は、業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ書面により発注者の承諾を得なければならない。

6. 損害賠償及び補償

- （１）受注者は、下水道工作物に損傷を与えたときは、ただちに監督員に報告し、その指示を受けるとともに、すみやかに原形に復旧しなければならない。
- （２）受注者は、作業にあたり万一注意義務を怠ったことにより第三者に損害を与えたときは、その復旧及び賠償の全責任を負わなければならない。

7. 工程管理

- （１）受注者は、「着手届」に添付した工程表に従い、あらかじめ監督員と協議して実施工程表を作成し提出すること。
- （２）工程管理は、前項の実施により、適正に行うこと。
- （３）予定の作業工程と実績とに差がでた場合は、必要な措置を講じて作業の円滑な進行を図ること。
- （４）作業実施の都合上、履行期間に含んでいない日（祝日又は休日等）に作業を行う必要がある場合は、あらかじめその内容、作業時間等について監督員の承諾を得ること。

8. 作業記録写真

受注者は、作業状況写真を撮影し、監督員に提出しその承諾を得ること。

なお、発注者が必要と認め監督員が指示する場合は、その指示に従うこと。

- （１）写真には件名・撮影場所・撮影対象・受注者名を明記した黒板を入れて撮影すること。
- （２）一枚の写真では作業状況が明らかにならない場合は、貼り合せること。
- （３）写真は、原則としてカラー撮影とし、その大きさはサービス判とすること。
- （４）各清掃を実施する汚水ポンプ場の全箇所を撮影すること。

清 掃 工

1. 一般事項

- (1) 受注者は、「清掃作業計画書」に作業箇所・作業順序等を定め、事前に監督員に報告した上で作業に着手すること。
- (2) 作業にあたっては、下水道工作物（ポンプ井）に損傷を与えないよう保護措置を講じること。
- (3) 作業にあたり仮締切りを必要とする場合は監督員の承諾を得ること。この仮締切りは作業中の安全が確保されるものとし、上流に溢水の恐れがあるときは、ただちにこれを撤去すること。
- (4) 受注者は、作業にあたり地元住民等に迷惑のかからぬよう極力騒音、振動等の防止に努めること。
- (5) 受注者が監督員の指示に反して作業を続行した場合及び監督員が事故防止上危険と判断した場合等には、作業の一時中止を命ずることがある。

2. 清掃工

- (1) 作業時間
作業にあたっては、道路使用許可条件を厳守すること。
- (2) 汚泥の流出防止
作業にあたっては、下流側に汚泥を流出させないようにポンプを停止して、作業を行うこと。万一下流側に流出（圧送）させた場合は影響区間の流出汚泥を取り除くこと。
- (3) 洗浄水
作業に必要な洗浄水はゴミ等の浮遊しないものを使用すること。
- (4) 異常時の処置
 - ①清掃作業が困難な状態になった時はただちに監督員に報告し指示を受けること。
 - ②作業範囲の工作物に破損、不等沈下、腐食等の異常発見した時はすみやかに監督員に報告すること。

運 搬 工

1. 一般事項

- (1) 受注者は、運搬業務の遂行にあたって「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、その他関係法令を遵守すること。
- (2) 受注者は、運搬許可を受けていることを証するものとして、産業廃棄物収集運搬業許可の写しを発注者に提出すること。

2. 運搬工

(1) 運搬

- ① 吸引車（密閉型）により搬入するものとする。
- ② 汚泥の運搬にあたっては、積載超過のないようにすること。

(2) 産業廃棄物の種類、予定数量

種類：汚泥（含水率 98%以上） 予定数量：10.0m³

(3) 処分先

処分先は、三光（株）ウェストバ イマス工場（所在地：鳥取県境港市潮見 2-2）を予定して
る。

(4) 再委託の禁止

受注者は、産業廃棄物の運搬業務を他人に委託してはならない。

安全管理

1. 一般事項

- (1) 受注者は、労働災害及び物件損害等の未然防止につとめ「労働安全衛生法」、及び「市街地土木工事公衆災害防止対策要綱」等の定めるところにしたがい、その防止に必要な措置を十分に講ずること。
- (2) 作業中は、気象情報に充分注意を払い、豪雨出水、地震等が発生した場合は、ただちに対処できるような対策を講じておくこと。
- (3) 事故防止を図るため、安全管理については、「清掃作業計画書」に明示し、受注者の責任において実施すること。

2. 作業員の安全管理

- (1) 受注者は、この作業に当たっては常に細心の注意を払い、滞留する有毒ガスあるいは酸素欠乏等に対しては、十分な事前調査および対策を講じ事故の防止及び作業員の安全を図ること。
- (2) 作業に使用する機材は常に点検し、整備をしておかなければならない。
- (3) 万一事故が発生した時は、緊急連絡体制にしたがい、ただちに監督員及び関係官公署に報告するとともに、速やかに必要な措置をとること。

その他

1. 作業の完了

清掃作業により発生した汚泥を確実に施設外に搬出し、処分先へ搬入したことを持って作業の完了とする。

2. 検査

- (1) 完了検査には、現場責任者が必ず立ち会うものとする。
- (2) 検査は、受注者の提出した日報、写真、完了図書等に基づいて行うが、万一不完全な箇所があった場合には再度、清掃を行うこと。なお、これに要する費用は受注者の負担とする。

3. 道路交通誘導員

路上もしくは道路を使用する清掃業務中の交通誘導員の人員は、警察と協議により決めること。

4. 特に定めない事項

- (1) 契約書、仕様書及び設計図書等に特に明示していない事項で清掃作業の実施上、当然必要な事項については受注者の責任において処理すること。
- (2) その他特に定めのない事項については、必要に応じて当局と受注者が協議して定める。